

アトモセチンカプセル「日医工」 を服用される方とご家族の方へ

この薬は、脳内の神経伝達物質の働きを調節する作用により、注意欠陥／多動性障害（AD／HD）の症状を改善します。



○ 服用する前に

次の方は必ず医師または薬剤師にご相談ください

- 以前にお薬や食べ物でかゆみや発疹などのアレルギー症状が出たことのある方
- モノアミンオキシダーゼ（MAO）阻害剤を服用している方、服用をやめてから14日以内の方
- 褐色細胞腫の方、または過去に褐色細胞腫であった方
- 閉塞隅角緑内障のある方
- 肝臓や腎臓に障害のある方
- けいれん発作のある方、または過去にけいれん発作をおこしたことがある方
- 心臓に障害のある方、過去に心臓に障害があった方、または血縁にQT延長のある方
- 高血圧の方、または過去に高血圧であった方
- 脳血管障害のある方、または過去に脳血管障害をおこしたことがある方
- 過去に起立性低血圧をおこしたことがある方
- 精神病的障害、双極性障害の精神系疾患のある方
- 排尿困難のある方
- 妊婦または妊娠している可能性がある方
- 現在、他のお薬を服用している方

○ 服用方法

- 必ず主治医または薬剤師の指示どおりに服用してください。自己判断で服用を中止したり、お薬の量を増やしたり減らしたりしないでください。
- カプセルを開けたりせずに、そのまま飲んでください。カプセルの内容物は目への刺激性があります。目に入ったときには、すぐに洗って医師に相談してください。また、手についた場合は、手を洗ってください。
- 飲み忘れに気づいた時は、すぐに1回分を服用してください。ただし、次に服用する時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を服用してください。決して一度に2回分を服用しないでください。
- 誤って多く服用した場合は、すぐに主治医または薬剤師に相談してください。

○ 服用中の注意点

- この薬を使用中の小児において、死にたいと考えること等があります。保護者またはそれに代わる方は患者さんの状態の変化について観察し、変化が見られた場合には医師に連絡してください。
- AD／HDの患者さんにおいて、攻撃的になったり、敵意をもったりすることがしばしば見られますが、この薬の使用中でも攻撃性や敵意があらわれたり悪化すると報告があります。ご家族の方は患者さんの状態の変化について観察し、変化が見られた場合には医師に連絡してください。
- 幻覚などの精神病性またはそう病の症状をおこすとの報告があります。ご家族の方は患者さんの状態の変化について観察し、変化が見られた場合には医師に連絡してください。
- 眠気、めまいなどをおこす可能性がありますので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作を行わないようにしてください。
- この薬を使用中は定期的に、血圧および心拍数（脈拍数）の測定が行われます。
- 授乳は避けてください。
- このお薬には併用を注意すべきお薬があります。他の病院を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

○ 副作用の注意点

- 次のような症状があらわれた場合は、ただちに主治医または薬剤師に相談してください。

疲れやすい、体がだるい、力がはらない、急激に体重が増える、ふらつき、意識の低下、白目が黄色くなる、吐き気、血を吐く、喉のかゆみ、動悸、息苦しい、食欲不振、お腹が張る、皮膚が黄色くなる、全身のかゆみ、じんま疹、尿の色が濃くなる、便に血が混じる

○ 保管等に関する注意点

- 直射日光・高温多湿を避けて保管してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- このお薬はあなただけに処方されたお薬です。他の人（親、兄弟、姉妹、友人など）に絶対に渡さないでください。

アトモセチンカプセル「日医工」 を服用される方とご家族の方へ

この薬は、脳内の神経伝達物質の働きを調節する作用により、注意欠陥／多動性障害（AD／HD）の症状を改善します。



○ 服用する前に

次の方は必ず医師または薬剤師にご相談ください

- 以前にお薬や食べ物でかゆみや発疹などのアレルギー症状が出たことのある方
- モノアミンオキシダーゼ（MAO）阻害剤を服用している方、服用をやめてから14日以内の方
- 褐色細胞腫の方、または過去に褐色細胞腫であった方
- 閉塞隅角緑内障のある方
- 肝臓や腎臓に障害のある方
- けいれん発作のある方、または過去にけいれん発作をおこしたことがある方
- 心臓に障害のある方、過去に心臓に障害があった方、または血縁にQT延長のある方
- 高血圧の方、または過去に高血圧であった方
- 脳血管障害のある方、または過去に脳血管障害をおこしたことがある方
- 過去に起立性低血圧をおこしたことがある方
- 精神病的障害、双極性障害の精神系疾患のある方
- 排尿困難のある方
- 妊婦または妊娠している可能性がある方
- 現在、他のお薬を服用している方

○ 服用方法

- 必ず主治医または薬剤師の指示どおりに服用してください。自己判断で服用を中止したり、お薬の量を増やしたり減らしたりしないでください。
- カプセルを開けたりせずに、そのまま飲んでください。カプセルの内容物は目への刺激性があります。目に入ったときには、すぐに洗って医師に相談してください。また、手についた場合は、手を洗ってください。
- 飲み忘れに気づいた時は、すぐに1回分を服用してください。ただし、次に服用する時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を服用してください。決して一度に2回分を服用しないでください。
- 誤って多く服用した場合は、すぐに主治医または薬剤師に相談してください。

○ 服用中の注意点

- この薬を使用中の小児において、死にたいと考えること等があります。保護者またはそれに代わる方は患者さんの状態の変化について観察し、変化が見られた場合には医師に連絡してください。
- AD／HDの患者さんにおいて、攻撃的になったり、敵意をもったりすることがしばしば見られますが、この薬の使用中でも攻撃性や敵意があらわれたり悪化すると報告があります。ご家族の方は患者さんの状態の変化について観察し、変化が見られた場合には医師に連絡してください。
- 幻覚などの精神病性またはそう病の症状をおこすとの報告があります。ご家族の方は患者さんの状態の変化について観察し、変化が見られた場合には医師に連絡してください。
- 眠気、めまいなどをおこす可能性がありますので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作を行わないようにしてください。
- この薬を使用中は定期的に、血圧および心拍数（脈拍数）の測定が行われます。
- 授乳は避けてください。
- このお薬には併用を注意すべきお薬があります。他の病院を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

○ 副作用の注意点

- 次のような症状があらわれた場合は、ただちに主治医または薬剤師に相談してください。

疲れやすい、体がだるい、力がはらない、急激に体重が増える、ふらつき、意識の低下、白目が黄色くなる、吐き気、血を吐く、喉のかゆみ、動悸、息苦しい、食欲不振、お腹が張る、皮膚が黄色くなる、全身のかゆみ、じんま疹、尿の色が濃くなる、便に血が混じる

○ 保管等に関する注意点

- 直射日光・高温多湿を避けて保管してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- このお薬はあなただけに処方されたお薬です。他の人（親、兄弟、姉妹、友人など）に絶対に渡さないでください。